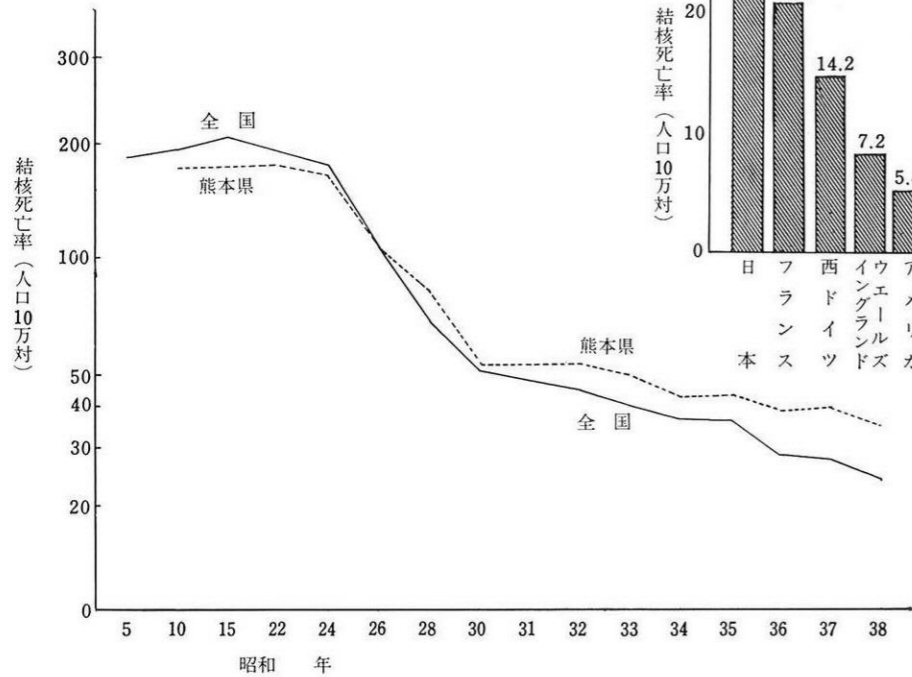


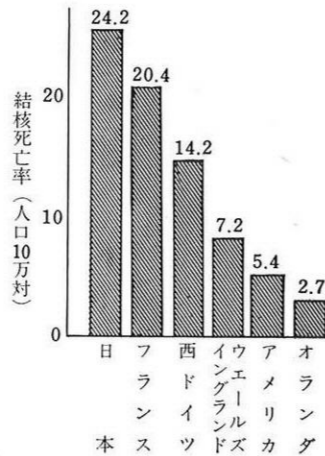
結核死亡のうつりかわり

〔第1図〕 結核死亡率の年次推移

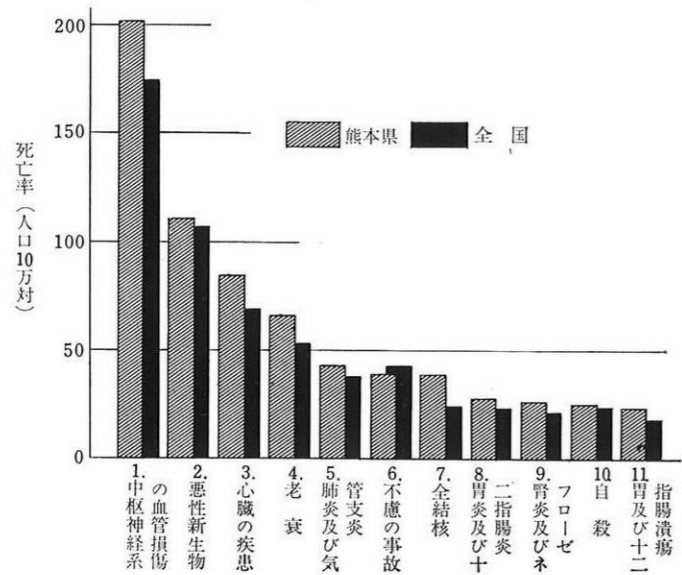
全国 熊本県 昭和10~38年



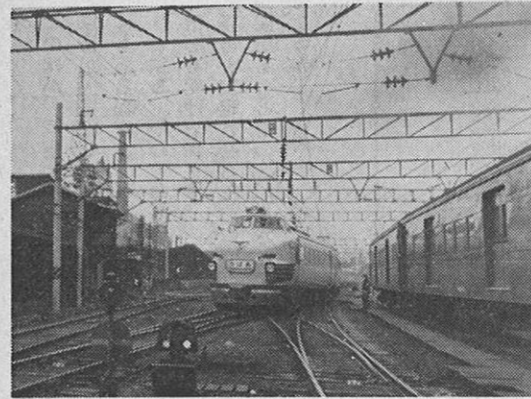
諸外国の結核死亡率
1963年(昭和38年)



〔第2図〕 主要死因別死亡率全国熊本県比較 (昭和38年)



国鉄電化と感電事故



鹿児島本線の電化は、ついに熊本まで完成し、列車のスピードアップと、煙の出ない快適な旅行とが実現することになりました。

ところで、この電化方式は、国鉄が最近、新しく採用している交流電化で二万ボルトの特別高圧の電気が流れていて、普通の市内電車の六〇〇ボルトないし一、五〇〇ボルトの電流よりはるかに高いものです。

私たちが家庭で使っている一〇〇ボルトの電気でさえ、ふれたら感電してショック死することがありますが、この二万ボルトの電気になりますと直接ふれたら感電死します。また、間接的にふれても感電するほか、一歩以内に近づいても危険だとされています。

理解したい感電の危険

熊本鉄道管理局では、この電化による感電事故を防ぐため、いろいろな対策をとってきたのですが、それでもすでに、タンク車の上のぼついていた小学生が感電し、全身の三分の二をやけどするという事故をはじめ、死者一、重傷三という犠牲者がでています。

これまでに、新聞やテレビ・ラジオのほか、リーフレットなどが沿線の学校、警察、市町村などに配付されて事故防止が呼びかけられてはいますが、何分、電車が走るのははじめてのことではあり、

まだ、十分に認識されていないむきもあるようです。

六つの赤信号

1. つり竿などの長いものを持って電線の下を通るときは、電線にふれないよう、また、電車線路付近で仕事をするとき、十分注意して下さい。
2. トラックの高積みや、あるいは荷物の上に人が乗って踏切を通るのは危険です。電線が一番低いところで五・二メートルになっていますが、高さ四・五メートル以上のは通れないようにしてあります。これは、二万ボルトの電線にふれなくても、近づくと危険だからです。
3. 駅の構内や敷地内にある電気設備には近づかないで下さい。ことに、子供が、構内の貨車やその他の施設にのぼって感電した例がたびたびあります。
4. 電線の近くでのタコあげや飛行機遊びは危険です。電線にタコがかかると、電車の運転ができなくなるばかりでなく糸を伝って感電することがあります。また、おもちゃの飛行

文明の恩恵として

もちろん、電化は、危険なものばかりではありません。要は、電車の架線にふれたり、変電所の柵を越えて入ったりして、いたずらをしない限り危険はないのです。

私たちの生活を、より豊かに、より合理的にするためには、文明の恩恵を、不注意のゆえに悲しいことにすることがないように、正しい認識で、この恩恵を十分活用したいものです。

5. 「がいし」という電線を支えている白いやき物がありますが、石を投げたりして、これをこわすと、電線が地上に落ちて放電し、大きな事故となります。
6. 水は電気をよく導きますが、ホースなどで水をかけると、水を伝って感電します。火災のとき消火のため放水作業をするときには、近くの駅長に連絡して下さい。直ちに電気を止めて、危険のないように措置されます。